

平成 26 年 8 月 10 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

聖 餐 式

司 会 : 片岡洋一兄
奏 楽 : 米田 香姉
おいのり : 加藤由美子姉
さんび : 新聖歌 222 「罪の深みに」 1. 2. 3 節
主の祈り
聖 書 : マタイによる福音書 26 章 57~63 節 (P.46)
(朗読: 赤塚孝子姉)
音 楽 : 倉知 契牧師
メッセージ : 「キリストの沈黙」 倉知 契牧師
賛美と献金 : 新聖歌 233 「驚くばかりの」
聖 餐 式
頌 栄 : 新聖歌 63 「父御子御霊の」
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎します。宜しければお昼ご飯も一緒に！
- ◇ 今日午後は自由参加の賛美集会。霊的パワーUPの時間。
- ◇ 8/24(日)は特別企画のオープン礼拝+持ち寄り愛餐会。
(夏場です、食材に気を付け、教会の冷蔵庫をお使いください)
- ◇ 9/14(日)は瀬戸カルバリーチャペル献堂8周年記念礼拝(ミサ)
西由起子さん音楽コンサート。全員参加で多数お誘いしましょう。
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大Aコース ローマ4章~9章 Bコース 詩篇70篇~87篇

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年8月17日]

[司会: 平松章治兄、いのり: 平松友子姉、聖書朗読: 持田樹理姉]

[ピアノ: 小島明美姉 賛美リード: 小島 誠兄]

アシスト: 大神 雄兄、鄭 恵真姉

[献金: 赤塚孝子姉、大神久美姉] [受付: 太田昌子姉]

◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 片岡立子姉



エレミヤ書 29 章 10 節

主はこう言われる、バビロンで七十年が満ちるならば、わたしはあなたがたを顧み、わたしの約束を果し、あなたがたをこの所に導き帰る。

今年が戦後 69 年、そして来年は 70 年を迎えます。私たちは日本の歴史をどう振り返ったら良いのでしょうか。太平洋戦争、各地の大空襲、広島・長崎の原爆、敗戦、沖縄返還。安保問題で国中が騒ぎ、経済成長で世界の頂点に近づき、その後バブル崩壊。平和とゆとりと安全を求めたのに、東日本大震災と福島原発事故。「戦後レジームからの脱却」と叫ぶ民主主義の限界とも言える声により、集団的自衛権の行使などを認める閣議決定までされました。誰かが「人類の一番大きな罪は、過去の歴史から学ばなかったこと」と言っていますが、どんな理由があっても再び戦争をする国にならないように祈らなければなりません。

『イエスと非暴力』の著者ウォルター・ウィンク氏は、「暴力を通して暴力に打ち勝つことができる」という支配主義に問題がある」と指摘します。スーパーマンのような神話的勝利は「暴力にもよい結果があり」、「力に正義がある」ことを教えてしまっている。イエス様は、自己犠牲を通して世界を悪から救ってくださいました。そして「歴史はとりなしの祈りをする人にかかっています」という同氏の言葉をしっかりと受け止めたいと思います。

先のエレミヤ書 29 章は続きます (11 節)。70 年後の約束です。

主は言われる、わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

主の約束は「平安と将来と希望」。リビングバイブルは「バラ色の将来」と訳しました。現実にとれほど戦争があっても、世界のニュースが何を伝えようと、私たちはグッド・ニュース (福音) を誇りとし、主の憐れみを祈り続けます。来週は、聖フランチェスコが捧げた「平和の祈り」を紹介します。

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

「やめよ。わたしこそ神であることを知れ。」 詩篇四十六の十・新改訳

"Stop fighting," he says, "and know that I am God (TEV)